



かもみーる通信



39号 2013年9月

トピックス

- * 学生アシスタント
- * 男女共同参画論開講
- * カモミールこども大学
- * 医学部サマースクール
- * 学内保育園たより



カモミール女子学生支援プログラム開始

男女共同参画推進室では、男女共同参画の推進ならびに大学院博士課程（博士後期課程）在学中の女子学生の就学を支援し、女子学生の博士後期課程進学を促進することを目的として、「カモミール女子学生支援プログラム（男女共同参画推進のための学生アシスタント）」を募集しました。この度、選考の結果、山本 彩織さんがカモミール学生アシスタントに選ばれました。



林室長から任命書を受け取る山本彩織さん

カモミール学生アシスタントは、決められた日時にカモミール・カフェに待機し、岐阜大学における男女共同参画の取り組みの広報支援や進学をはじめとした修学上の相談対応業務を行います。カモミール学生アシスタントを中心に、学生達のなかにも男女共同参画推進の気運が育つことを期待しています。

カモミール学生アシスタントの紹介



氏名：山本 彩織

所属：連合農学研究科生物生産科学専攻 1年

専門分野：動物繁殖学

私は、修士課程から岐阜大学で学び、現在は連合農学研究科博士課程に在籍しています。大学入学後から2回の進学を経験しましたが、いずれも即決できたものではありませんでした。特に博士課程への進学については、様々な点で悩みました。金銭面や研究のことなど進学後のことはもちろん、就職や、結婚・出産などの将来的な不安もあり、なかなか進学すると断言できずにいました。今でも、同じ世代の女性の働いている話や、結婚の話を知ると、自分がまだ学生であることへの不安を感じることがあります。

一方、研究室では先生方や研究室メンバーの協力もあり、楽しく研究活動に打ち込む日々を過ごしています。進学について悩んだ中で学んだことは、自分で決めることの大切さです。私がこれまでに悩み、考えてきたことが、進学やこれからを考える皆さんの役に立てばと思います。どんな些細なことでも構わないので、気軽に相談してください。

学生向け進路相談窓口を開設します。

日時：毎週 火曜日・水曜日 14:00～17:00

場所：カモミール・カフェ(大学会館2階)

* お気軽にご来室ください。



「ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）」開講

10月2日から全学共通教育（後学期）において「ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）」（コーディネーター：松井真一特任助教）の授業が始まります。本講義は、現代社会の男女参画の実態を明らかにし、岐阜大学の取り組みや実践を紹介することで、これからの社会のあり方を探っていくことを目的としています。

今年度も大学内外の方々に講師をお願いし、多彩な講師陣となっています。各講師からは民間企業や大学での男女共同参画推進の取り組み、職場としての大学について語っていただきます。実際の職場で男女共同参画の実現がどのように図られているのか、またそこに潜む課題は何であるのかを学ぶ機会を提供できたらと考えています。

開講日	テーマ	講師
10月2日	ガイダンス	松井 真一 特任助教（男女共同参画推進室）
10月9日	男女共同参画論の基本	松井 真一 特任助教（男女共同参画推進室）
10月16日	男女共同参画論の基本	松井 真一 特任助教（男女共同参画推進室）
10月23日	ジェンダーとは何か	根岸 泰子 教授（教育学部）
10月30日	現代社会と男女共同参画の実態	小林 月子 教授（教育学部）
11月6日	職場としての大学	田草川 祐輔 氏（学務部学生支援課）
11月13日	企業の取り組み	堀 明仁 氏（京都信用金庫）
11月20日	岐阜大学の取り組み	林 正子 教授（男女共同参画推進室長）
11月27日	女性教職員からみた職場	山根 京子 助教（応用生物科学部）
12月4日	女性教職員からみた職場	清島 真理子 教授（医学部）
12月11日	男性教職員からみた職場	今村 光章 准教授（教育学部）
12月18日	岐阜市の取り組み	寺松 みどり 氏（岐阜市女性センター所長）
1月8日	精神科からみた仕事と生活	西尾 彰泰 准教授（保健管理センター）
1月22日	男性教職員からみた職場	和佐田 裕昭 教授（地域科学部）
1月29日	まとめ	松井 真一 特任助教（男女共同参画推進室）

オープンキャンパスで男女共同参画の取り組みを紹介

平成25年8月6日（火）～8日（木）にオープンキャンパスが開催されました。男女共同参画推進室では、カモミール・カフェを休憩室として開放し、進路に関する本の閲覧コーナーを設け、ワーク・ライフ・バランスに関するパネル展示を行いました。

来場者は、男女共同参画推進室が発行したロールモデル集を手にとりながら談笑するなど、大学生活に想いをはせていたようです。岐阜大学が進める男女共同参画の取り組みについて紹介する良い機会となりました。





「カモミールこども大学」を開催

平成25年8月27・28日に、岐阜大学の教職員の子どもを対象に「カモミールこども大学」を開催しました。本企画は、子どもの長期休暇中における本学教職員への保育環境の提供、及び子どもの職場理解の促進を目的として行われ、2日間で延べ31名（子ども28名、保護者3名）の参加がありました。

フィールドセンター、教育学部、附属病院、そして落語研究会のご協力により、様々な楽しい体験学習を行うことができました。

初日には緊張した面持ちの子ども見られましたが、グループごとに協力しながら活動を行い、次第に打ち解けて、楽しく過ごすことができましたようです。

27日



農場での収穫体験と、ピザ・マヨネーズ作りは子ども達に大好評でした。おいしくいただきました。（フィールドセンター）



を使って作るアイスクリーム？答えはドライアイスでした。どうやってできるのか、興味津々。（教育学部 須本良夫先生）



音楽では笛作りをしました。楽器のしくみを知って、素敵な音楽の演奏も聴きました。（教育学部 松永洋介先生）

28日



ドクターヘリを見学しました。設備や機器を見てみんな釘付けに。質問もたくさん飛び出しました。（医学部附属病院）



大人も子どもリズムに合わせてジャンプ！かっこよくダンスを踊ることができました。（教育学部 熊谷佳代先生）



3人の学生さんから笑いいっぱいの落語を聴きました。最後には質問コーナーも。（岐阜大学落語研究会）



みんな元気に修了しました！

最後に、「こども大学」の活動を新聞にしました。楽しかったこと、発見したこと、またやりたいことなど、思い思いに感想を書きました。





医学部キッズサマースクール

平成25年8月22日-23日、岐阜大学医学部附属地域医療医学センター（センター長：村上 啓雄教授）、医学部・同附属病院女性医師就労支援の会（代表：清島 真理子教授）が、夏休み中の学童保育支援及び親の職場見学を目的として、キッズサマースクール（コーディネーター：操 奈美先生）を開催しました。医学部と同附属病院に勤務する職員の子（小学生）41名の参加がありました。



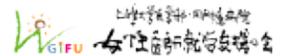
ドクターヘリ見学の様子

同会が主催するサマースクールは、平成22年度に始まり、今回が4回目。参加希望者が60名を超えるなど、大変好評な取り組みです。

今回は、医学科・看護学科の学生がスタッフとして参加し、学内各所の協力を得て、化石教室、心肺蘇生体験、ドクターヘリ見学、放射線部見学、ダンスといった様々なイベントが行われました。

参加した子どもたちは、夏休みの終盤に非常に楽しい思い出を作ることができたようです。

岐阜大学医学部・同附属病院女性医師就労支援の会



岐阜大学医学部・同附属病院 女性医師就労支援の会は、2009年10月、女性医師のキャリア形成支援を目的に発足。地域医療医学センターに支援窓口を設けて活動しています。

女性医師の勤務環境の整備・支援

医師としてのプロフェッショナル意識の浸透・充実

上記を2本柱とし、講演会や女子医学生と女性医師との懇談会、キッズサマースクール・ウィンタースクールなどを企画・開催しています。

夏 学内保育園 夏祭り 祭

平成25年8月23日（金）、学内保育園「ほほえみ」「すこやか」で夏祭りが開催されました。保育士さんお手製のゲームをいっぱい楽しみました。



みんな、この的をめがけてボールを投げています。



水風船つり。
釣れるかな。



おばけの目玉にボールを入れます。
みんな、おばけに興味津々。



金魚すくい



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

